

大雨による水害(洪水)

近年、全国各地で局地的大雨や記録的大雨が相次いでおり、大規模な災害に至る事態も発生しています。大雨災害発生時の行動等について、日頃から対策を行い、いざというときに備えることが重要です。

雨の降り方と強さのイメージ

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に 10~20 mm	1時間に 20~30 mm	1時間に 30~50 mm	1時間に 50~80 mm	1時間に 80mm~
■ザーザーと降る ■地面一面に水たまりができる	■どしゃ降り ■傘をさしていてもぬれる	■バケツをひっくり返したように降る ■道路が川のようになる	■滝のように降る ■傘は全く役に立たなくなる	■息苦しくなるような圧迫感がある

水害の種類と発生の仕組み

大雨をもたらす災害は、河川の氾濫だけではありません。災害が起きる前に、自分の地域にどのような水害の危険性があるのか確認しましょう。

外水氾濫(洪水)



大雨等で河川の水位が上昇し、堤防が決壊したり、河川の水が堤防を越えたりすることにより起こる氾濫を外水氾濫(洪水)といいます。

ダム下流域河川の氾濫



ダムの容量を上回る大雨が降ったとき、ダムの緊急放流を行います。ダム管理者からの緊急放流を行う情報をもとに、ダムの下流域に避難情報を発令することがあります。

内水氾濫



雨の量が下水道などの排水施設の能力を超えたときや、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することを内水氾濫といいます。

道路のアンダーパスなど低い場所は水がたまりやすくなっているので注意!

POINT! 内水浸水想定区域図は仙台市ホームページで確認できます
[仙台市 内水浸水想定区域図](#) 🔍 検索

防災重点農業用ため池の決壊



防災重点農業用ため池とは、下流に住宅や公共施設があり、決壊した場合、人的被害を与えるおそれがあるため池のことです。大雨や地震により、避難情報を発令することがあります。

POINT! ため池のハザードマップは仙台市ホームページで確認できます
[仙台市 ため池ハザードマップ](#) 🔍 検索

「早期の立退き避難が必要な区域」を設定しています

河川の氾濫により家屋倒壊や住宅の2階以上が浸水するおそれがあるなど、建物内の上階に避難する垂直避難では安全の確保が難しくなる区域を「早期の立退き避難が必要な区域」に設定しています。

早期の立退き避難が必要な区域

浸水深3m以上の区域

一般的な住宅の2階床面の高さ以上に相当します。屋内に留まることにより命に危険がおよぶおそれがあります。

家屋倒壊等氾濫想定区域

大雨の際に、一般的な木造住宅を押し流すほどの氾濫流や河岸侵食が発生するおそれのある区域です。

避難情報発令時には…

警戒レベル3 **高齢者等避難** の発令を目安に、

- ①まずは洪水浸水想定区域の外へ避難
- ②上記が難しい場合は、早期の立退き避難が必要な区域外にある指定避難所などの建物の2階以上へ避難

こんなときは要注意!

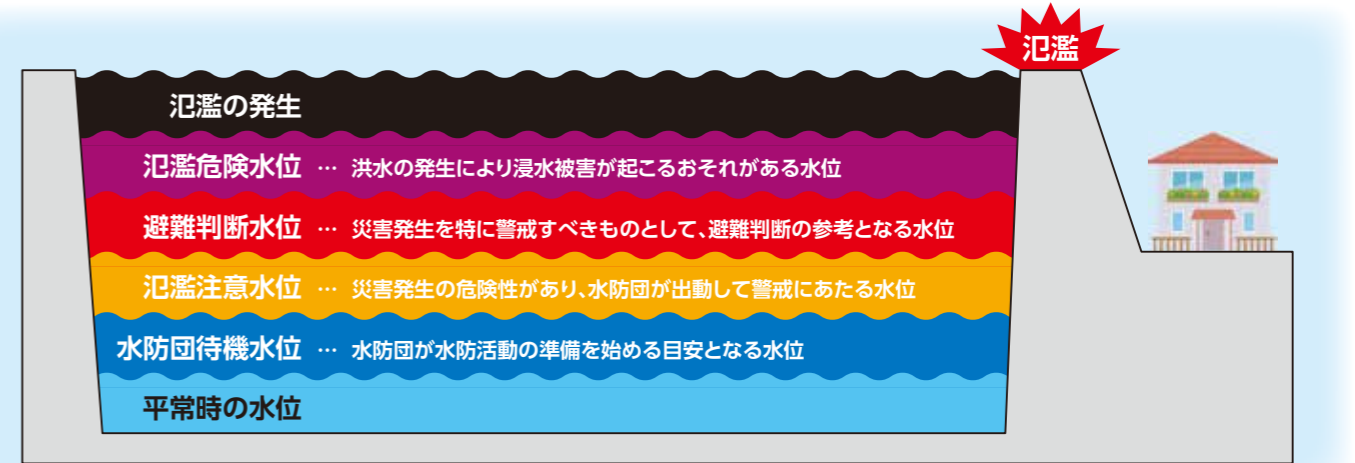
周囲の浸水が始まっているなど、外に出ることが危険な場合は、自宅の2階や近くにある頑丈な建物へ緊急的に避難し、安全を確保します。

河川の水位情報

主要河川では避難情報の基準となる水位の情報を観測し、災害発生時の危険度に応じた水位が設定されています。

POINT! 水位情報はテレビのデータ放送やこちらのWEBサイトで確認できます。

[宮城県河川流域情報システム](#) 🔍 検索



避難上の注意点

水害からの避難方法は、「浸水する深さ」や「建物の種類」などによって異なります。自身で最適な避難方法、避難先をあらかじめ決めておくことが大切です。

洪水の発生

河川の水位上昇

堤防の近くは建物ごと流されるおそれあり。急いで避難!

木造2階建て

アンダーパスは水がたまっていて危険だワン!

アンダーパス

車での避難は危険! 閉じ込められるおそれがあります

マンホール

冠水するとマンホールや用水路が見えなくなるよ。杖をつけて確認!

用水路

移動に時間がかかる方は早めに避難を始めよう

指定避難所

できるだけ高い場所へ避難しよう

マンション・ビル

木造2階建て

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

外がすでに危険な状況! かけから離れた2階の部屋で出来る限りの安全確保を

みんなで協力しながら避難しよう

災害が発生してしまう前に早めの避難を心がけよう

土砂災害について詳しくは次ページをチェック!